

事業番号	09 04 07	事業改善シート（26年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	松林健全化推進事業 予防事業				担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	森林づくり推進課		
	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 3 多様な森林の整備の推進			E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	S56 ~		

1 事業の概要

目指す姿	急峻で脆弱な県土における防災や、信州の原風景の保全上重要な役割を果たしているアカマツ林を保全し、枯渇しつつあるアカマツ材やマツタケ等の林産物の確保を図るため、松くい虫被害区域の拡大を防止を図る。			
現状（予算編成時）	昭和56年の被害発生以来、区域の拡大を伴い被害量が増加し、平成7年度に5.7万m3のピークを迎え、その後減少傾向にあったが、平成12年度から増加し、平成13年度以降は5万m3程度で、平成20年度からは6万m3前後で推移していたが、平成25年度に7.8万m3と過去最高の被害量となっている。			
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）	【左記の説明、根拠法令等】 森林病虫害等防除事業補助金交付要綱、同要領		
	県民との協働による実施： 検討中			
成果目標・事業内容	① 成果目標（H26） 駆除事業と組み合わせる総合的な対策を実施し、健全化すべき松林の被害発生面積割合を70%以内にする。			
	② 事業内容 (単位:千円)			
		項目	実施方法	H26事業実績
				H26 (当初) (決算) H27 (当初)
	1 推進事業	直接	被害木の調査及び駆除指導 被害の早期発見、診断	353 340 353
2 薬剤散布事業 安全確保対策推進事業 環境影響調査	直接	特別防除(空中散布)の農業に係る植生・昆虫類等への影響及び、大気・土壌への影響調査(1地区)	5,000 4,849 5,000	
リスクコミュニケーション強化 安全確認調査 地上散布事業 無人ヘリコプター散布事業 空中薬剤散布事業	補助金	リスクコミュニケーション強化2市町村 空中散布等に係る大気・水質調査8市町村251検体 無人ヘリコプター散布4市町村66ha 空中薬剤散布8市町村268ha	25,190 28,176 30,911	
3 樹幹注入剤利用松林保全対策事業	補助金	特に重要な松林における薬剤樹幹注入5市村364本	2,873 2,895 2,063	
			合計	33,416 36,260 38,327

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	35,913	33,542	33,416	38,327
	補正予算			3,007	
	合計(A)	35,913	33,542	36,423	38,327
	一般財源	12,192	10,937	12,055	12,644
	県債				
	国庫支出金	23,721	22,605	24,368	25,683
	その他	0	0	0	0
	決算額(B)	32,632	38,251	36,260	
概算職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	
概算人件費	4,129	4,129	4,129	4,129	
概算事業費(B(A)+C)	36,761	42,380	40,389	42,456	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
対策対象松林の被害区域面積の比率	69%	70%	59%	達成	70%

目標に対する成果の状況	薬剤散布等の予防事業の実施により、対策対象松林の被害区域面積目標(70%以内)を達成した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	被害先端地域においては、被害木の駆除、樹種転換及び薬剤防除等の複数の手段を組み合わせた、総合防除の重点的実施を継続する。また、その他の地域では、守るべき松林を微害で維持するための総合対策を実施する。